

外来生物ってなに？

もともとその地域にいなかったのに、

人間の活動によって外国やほかの地域から入ってきた生き物のことです。

たとえば、ペットとして連れてこられたり、食べ物や毛皮のために持ちこまれたりして、

日本に広がった動物や植物がいます。

渡り鳥など自力で移動した生き物は「外来生物」になりません。

ポイントは
「人の手で入ってきた」
ということ！



特定外来生物ってなに？

外来生物の中でも、

- 🐾 日本の自然(日本に元々いた生きもの)に大きな悪い影響をあたえる
- 🐾 農作物に大きな被害を出す
- 🐾 人の安全や健康に害をあたえる

このような特に問題が大きい生き物を、法律(外来生物法)で「特定外来生物」と決めています。

「特定外来生物」はかわいそうですが、「根絶」が目標になっています。

🐾 アライグマ・ヌートリアはどうして「特定外来生物」？

① よく増えるから

どちらも繁殖力が強く、短い期間でどんどん数が増えます。

数が増えると、被害も大きくなります。



② 日本の生きものを食べてしまうから

アライグマもヌートリアも大食いで、

アライグマは雑食で、サンショウウオ・カエル・カメ・鳥なども食べてしまいます。

ヌートリアは水辺の植物をたくさん食べます。

そのため、日本に元々いた生きもの(在来種)が減ってしまう可能性があります。



③ 農作物やぐらしに被害を出すから

果物や野菜、稲などを食べます。

アライグマは、家に入りこんだり、屋根裏にすみついてしまいます。

さらに、人にもうつる可能性のある病気を運ぶ可能性もあります。

ヌートリアは土手やあぜに穴をあけて、水もれや堤防のこわれる原因になります。



けもの通信



🐾 WANTED! アライグマ&ヌートリア!



こんにちは!

地域おこし協力隊の小川晴那(おがわはるな)です。

アライグマ・ヌートリアを見たことはありませんか?

アライグマ・ヌートリアは「特定外来生物」に指定されています。

「特定外来生物」は数が少ないうちに対応しないと、手が付けられなくなります。

もし、見つけたら役場経済課までご連絡ください!

ありがたいことに「けもの通信を手元に残したいんだけど..。」と言ってくれる方が出てきました!



『けもの通信』は町のホームページに掲載しております。

また、経済課にも置いておりますので、必要な時はぜひお越し下さい。

🐾 アライグマ・ヌートリア〇×クイズ!

あなたは
アライグマ・
ヌートリアのこと、
どれだけ知ってる?

【問題1】

東栄町には アライグマ も ヌートリア もいない。

【問題2】

アライグマよりもヌートリアの方が増えやすい。

【問題3】

アライグマは人やペットに移る可能性のある病気を持ち運ぶ。

【問題4】

渡り鳥も外来生物である。

【問題5】

特定外来生物は「根絶」が目標。

答えは内側と裏面を
読んでね!



🐾 アライグマってどんな動物？

【問題1】の答え × 【問題3】の答え ○

どこから来たの？

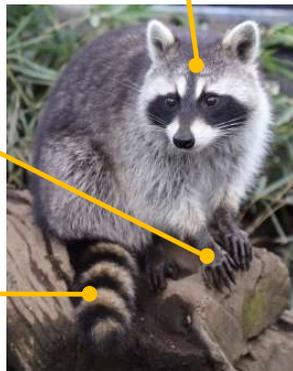
アライグマはもともと北アメリカに住む動物です。
日本にはアニメの影響でペットとして入ってきましたが、
性格が狂暴なので、飼うのがむずかしく、
逃げたり放されたりして、
今では全国すべての都道府県で野生化しています。



何を食べる？

雑食で、果物・野菜・トモロコシなどの農作物、
カエルやネズミ、鳥、魚、昆虫まで何でも食べます。

鼻筋に黒い模様があるよ。
タヌキやハクビシン、アナグマは鼻筋が白！



指が長い

しっぽが
しましま模様



僕はタヌキ
よく間違えられるよ

どんな被害があるの？

果物や野菜などの農作物被害ゴミや
ペットフード、家畜のエサを荒らします。
在来の生きもの(希少種も含む)を食べます。
家に入り込み、ふん尿で生活環境を汚します。
アライグマ回虫という寄生虫を持っていて、
人や犬などにうつる可能性があります。

どこに住んでいるの？

水辺が好きですが、
森林や市街地でも住むことができます。
東京の23区にも生息しています。
木登りが得意で、
日本では家の屋根裏や納屋に住みつくこともあります。

どれくらい増えるの？

年1回子どもを産み、1回に3~6頭ほど産みます。
1歳を超えるとで子どもを産めるようになります。

東栄町にいるの？

東栄町を含む全県で目撃されています。

町内では

令和7年度に

3頭の捕獲がありました。

令和5,6年度は

1頭ずつの

捕獲だったため、

増加傾向にある?!



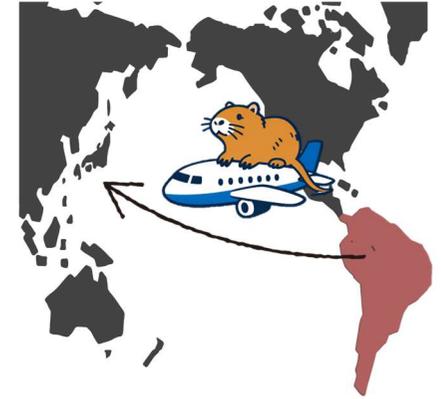
県内分布図(2023年)

🐾 ヌートリアってどんな動物？

【問題2】の答え ○

どこから来たの？

ヌートリアはもともと南アメリカに住む動物です。
毛皮をとるために日本へ連れてこられました、
野外に広がり、今では世界各地で野生化しています。
愛知県でも
1952年~1959年に毛皮採取を目的とした
「愛知県ヌートリア農業協同組合」がありました。



何を食べる？

草食動物で、
水辺に生える植物の葉やくき、地下の根(地下茎)などを食べます。

ビーバーみたいな見た目。
川をスイスイ泳ぐことができるよ！



しっぽは長く、
毛がほとんど
生えていない

歯がオレンジ色

どこに住んでいるの？

流れのゆるやかな川や池、沼などの
水辺に暮らしています。

どれくらい増えるの？

年に2~3回子どもを産み、1回に5頭ほど産みます。
生後3~10か月で子どもを産めるようになるため、
数が急激に増えやすい動物です。

東栄町にいるの？

町内での目撃はまだありませんが、
県内では北設楽郡以外

で目撃されています。

東栄町の近くでは、

鳳来町の河川や

浜松市の天竜川でも

目撃があり、

ヌートリアの侵入は

目の前まで迫っています。



県内分布図(2023年)

どんな被害があるの？

稲の新芽や、
ニンジン・大根などの農作物を食べます。
川の土手に穴をほり、堤防を壊したり、
田んぼのあぜや
水路に穴をあけ、
水もれの原因に
なったりします。

